

裁判员制度 10周年!!



平成21年5月21日にスタートした裁判员制度は、国民の皆様の積極的なご参加に支えられ、5月21日に10周年を迎えます。実際に裁判员を経験された方の声をお伝えするとともに、これまでの実施状況をご紹介します。

裁判员を経験された方はどう感じた？



裁判の進み方、視点、論点等が整理されていて、今後の仕事等にも生かせる内容であったと思う。
(50代, 男性, お勤め)

自分の意見が裁判に反映される点が重要と感じました。次回選ばれることがあれば、またやってみたいです
(40代, 男性, パート・アルバイト)

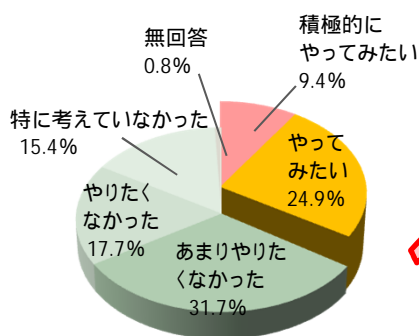
なかなか経験出来る事でもないですし、少しですが、裁判に対しても興味、関心を持たないように思います。とても良い経験でした。
(30代, 女性, 専業主婦)



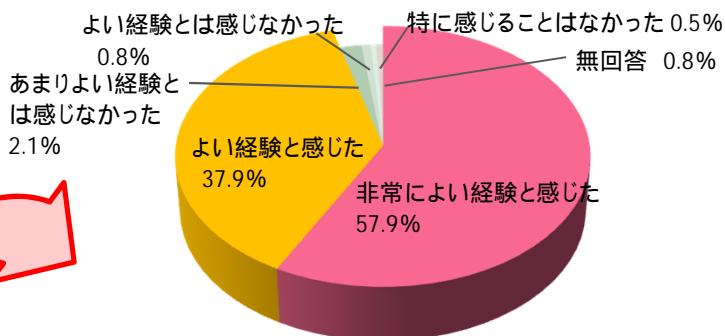
性別も年齢も、人生経験も違う人達の色々な意見が聞けて、とても勉強になりました。色々聞いていく中で、自分の考えにも変化がありました。
(60代, 女性, お勤め)

裁判员に選ばれる前と後での気持ちの変化は？

裁判员に選ばれる前は…



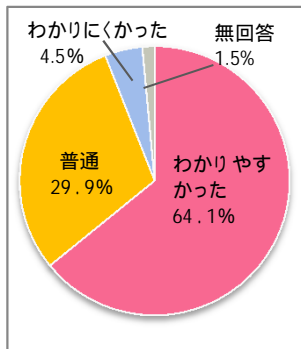
裁判员としてやってみたら…



選ばれる前に「(積極的に)やってみたい」と思っていた方の割合は34.3%でした。しかし、参加後には95.8%の方が「(非常に)よい経験」と感じられており、充実感をもって参加していただけたことがうかがえます。

裁判って、難しくないの？

審理はわかりやすかったですか？

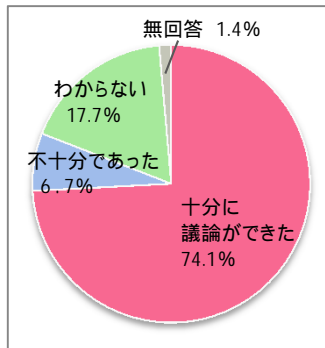


専門用語の説明など裁判員制度を意識したものであったのでわかりやすかった。
(20代, 男性, お勤め)



「わかりやすかった」64.1%

評議で十分に議論ができましたか？



適度に休憩があり、皆さんの意見も取り入れられて自分では気づかないような点まで話し合うことができました。
(30代, 女性, お勤め)



「十分に議論ができた」74.1%

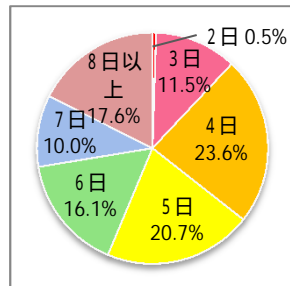
どのくらいの方が裁判員を務めたの？

これまで行われた1万件以上の裁判員裁判に、66,407の方が裁判員として参加されました。

裁判手続に参加いただいた日数は、平均約5.9日です。



(グラフはこちら。)



次はあなたの参加をお待ちしています

裁判員制度が始まって10年、裁判官の専門性に国民の皆様の視点が加わって、刑事裁判はより多角的で深みのあるものになってきました。とはいえ、裁判員裁判はまだ航海に乗り出したところです。次の10年、そしてその先も、どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。